

第2回 兵庫県立がんセンター「地域公開講座 in 播磨」

がんゲノム医療を知る



日時 令和4年7月23日(土) 14:00 ~ 16:15
(開場 13:30)

プログラム

開会 14:00

第1部 がんゲノム医療

- がんゲノム医療とは？ 兵庫県立がんセンター研究部医長 植野さやか
- がんゲノム外来の実際 —どんな話？どう役立った？— 兵庫県立がんセンター腫瘍内科部長 松本 光史
- チーム医療で支えるがんゲノム医療 —どんな支援が受けられる？— 兵庫県立がんセンターがん看護専門看護師 日下 咲

(休憩)

第2部 遺伝性腫瘍

- がんの遺伝が気になるときは 兵庫県立がんセンター認定遺伝カウンセラー 菅原 宏美

質疑応答

閉会 16:15

会場 加古川市総合福祉会館
2階大ホール

参加対象者 一般県民・医療関係者 定員70名
(FAX等による事前申し込みが必要です ※定員になり次第締め切ります)

入場料 無料 (受付番号を記入した参加証を送付しますので、ご持参ください)

申込締切 令和4年7月20日(水)



※申込方法は裏面をご参照ください。

申込先
お問い合わせ

〒673-8558 明石市北王子町13-70 兵庫県立がんセンター総務部 地域公開講座事務局宛
FAX:078-929-2380 TEL:078-929-1151(代) E-mail:jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp

主催: 兵庫県立がんセンター 共催: 兵庫県がん診療連携協議会
後援: 兵庫県医師会、加古川市、加古川医師会、兵庫県看護協会、神戸新聞社

第2回 兵庫県立がんセンター「地域公開講座 in 播磨」

- 1 テーマ 「がんゲノム医療を知る」
- 2 日時 令和4年7月23日(土) 14:00~16:15 (開場 13:30)
- 3 会場 加古川市総合福祉会館 2階大ホール
- 4 プログラム

◇開会

◇第1部 がんゲノム医療 (14:05~15:20)

講演1 がんゲノム医療とは？

兵庫県立がんセンター研究部医長 植野さやか

講演2 がんゲノム外来の実際 —どんな話？どう役立った？—

兵庫県立がんセンター腫瘍内科部長 松本 光史

講演3 チーム医療で支えるがんゲノム医療 —どんな支援が受けられる？—

兵庫県立がんセンターがん看護専門看護師 日下 咲

(休憩 15:20~15:30)

◇第2部 遺伝性腫瘍 (15:30~15:55)

講演4 がんの遺伝が気になるときは

兵庫県立がんセンター認定遺伝カウンセラー 菅原 宏美

◇質疑応答 (15:55~16:10)

◇閉会

5 参加申込等 (予定)

◇参加対象者 一般県民・医療関係者 定員70名

◇申込期限 令和4年7月20日(水)

◇入場料 無料

◇申込方法 「地域公開講座申込」と明記のうえ、①住所、氏名②TEL・FAX番号
③申込者以外の参加者氏名を記入し、兵庫県立がんセンター総務課
地域公開講座事務局宛にFAX又は電話、メールにて申込み。

FAX: 078-929-2380 TEL: 078-929-1151 (代)

E-mail: jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp

◇主催 兵庫県立がんセンター

◇共催 兵庫県がん診療連携協議会

◇後援(予定) 兵庫県医師会、加古川市、加古川医師会、兵庫県看護協会 神戸新聞社

がんゲノム医療を知る

in 播磨

兵庫県立がんセンターは、県下のがん医療に関する中枢医療機関として、県民の皆様のがん治療に積極的に取り組んでいます。

一方、がん検診受診率や精密検査受診率については、兵庫県は全国的に見ても低く、がんの知識や治療についての県民に対するさらなる啓蒙活動が必要と考えています。

このため、がんゲノム医療を知るをテーマとして、令和4年7月23日(土)に地域公開講座を開催いたしました。

加古川市民総合福祉会館を会場として、加古川市をはじめ高砂市、姫路市、三木市、小野市などの近隣地域の方を対象に、81名の方がご参加され、質問にもお答えさせていただきました。

里内副院長の開会挨拶の後、研究部・植野医師を座長に 4 つの講演を行いました。

はじめに植野医師から、「がんゲノム医療」の概要についてわかりやすい講演の後、松本腫瘍内科部長からはゲノム外来での検査の流れや費用、新しい治療提案に至る確率など、一般県民の方が気になる内容について数値を示して説明されました。

日下がん看護専門看護師は、実際の患者さんの反応や看護師の関わりといったゲノム医療を受ける患者さんへの支援について講演しました。

最後の菅原遺伝カウンセラーからは、がんと遺伝と遺伝子の関係性についてイメージだけでなく具体的な数字を用いた説明で、県民の方の興味と理解を深める内容でした。

公演後の質疑応答では、「標準治療終了してからでは遅いのでは?」「もっと治療に結びつく確率が高くないのか?」といった至極もつともなご意見や、「治療は東京でしか受けられないのか?」「遺伝外来受診の際にかかりつけ医にお願いして用意しておくものはあるか?」といった受診を想定されたものなど多数のご質問をいただきました。

土用の丑の日に開催と気温もとても暑かったですが、参加された県民の熱気も感じることができ、まさに盛会となりました。

兵庫県立がんセンター「地域公開講座 in 神戸」

がんゲノム医療を知る



日時

令和5年1月14日(土) 14:00 ~ 16:15
(開場 13:30)

プログラム

開会 14:00

第1部 がんゲノム医療

○がんゲノム医療とは?

兵庫県立がんセンター研究部医長 植野さやか

○がんゲノム外来の実際 —どんな話?どう役立った?—

兵庫県立がんセンター腫瘍内科部長 松本 光史

○チーム医療で支えるがんゲノム医療 —どんな支援が受けられる?—

兵庫県立がんセンターがん看護専門看護師 日下 咲

(休憩)

第2部 遺伝性腫瘍

○がんの遺伝が気になるときは

兵庫県立がんセンター認定遺伝カウンセラー 菅原 宏美

質疑応答

※講演内容は、令和4年7月23日(土) 加古川市総合福祉会館で開催した地域公開講座と同じ内容です。

閉会 16:15

会場

神戸常盤アリーナ 本館1階 小ホール

神戸市長田区蓮池町1-1 (山陽電鉄「西代駅」から徒歩1分)

参加対象者

一般県民・医療関係者 定員50名

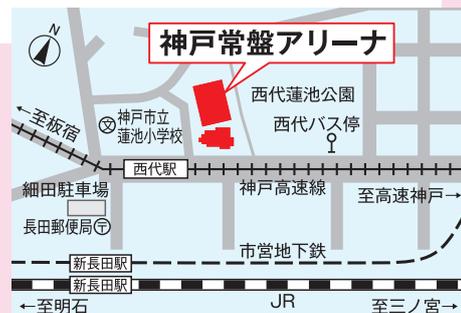
(FAX等による事前申し込みが必要です ※定員になり次第締め切ります)

入場料

無料 (受付番号を記入した参加証を送付しますので、ご持参ください)

申込締切

令和5年1月11日(水)



※申込方法は裏面をご参照ください。

申込先
お問い合わせ

〒673-8558 明石市北王子町13-70 兵庫県立がんセンター総務部 地域公開講座事務局宛
FAX:078-929-2380 TEL:078-929-1151(代) E-mail:jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp

主催: 兵庫県立がんセンター 共催: 兵庫県がん診療連携協議会
後援: 兵庫県医師会、神戸市医師会、兵庫県看護協会、神戸新聞社

兵庫県立がんセンター「地域公開講座 in 神戸」

- 1 テーマ 「がんゲノム医療を知る」
2 日時 令和 5年 1月14日(土) 14:00~16:15 (開場 13:30)
3 会場 神戸常盤アリーナ本館1階 小ホール

4 プログラム

◇開 会

◇第1部 がんゲノム医療 (14:05~15:20)

講演1 がんゲノム医療とは？

兵庫県立がんセンター研究部医長 植野さやか

講演2 がんゲノム外来の実際 ーどんな話？どう役立った？ー

兵庫県立がんセンター腫瘍内科医長 境 秀樹

講演3 チーム医療で支えるがんゲノム医療 ーどんな支援が受けられる？ー

兵庫県立がんセンターがん看護専門看護師 日下 咲

(休憩 15:20~15:30)

◇第2部 遺伝性腫瘍 (15:30~15:55)

講演4 がんの遺伝が気になるときは

兵庫県立がんセンター認定遺伝カウンセラー 菅原 宏美

◇質疑応答 (15:55~16:10)

◇閉 会

5 参加申込等

◇参加対象者 一般県民・医療関係者 定員50名

◇申込期限 令和 5年 1月11日(水)

◇入 場 料 無 料

◇申込方法 「地域公開講座申込」と明記のうえ、①住所、氏名②TEL・FAX 番号
③申込者以外の参加者氏名を記入し、兵庫県立がんセンター総務課
地域公開講座事務局宛に FAX 又は電話、メールにて申込み。

FAX:078-929-2380 TEL:078-929-1151(代)

E-mail:jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp

◇主 催 兵庫県立がんセンター

◇共 催 兵庫県がん診療連携協議会

◇後援(予定) 兵庫県医師会、神戸市医師会、兵庫県看護協会 神戸新聞社

がんゲノム医療を知る

in 神戸

兵庫県立がんセンターは、県下のがん医療に関する中枢医療機関として、県民の皆様のがん治療に積極的に取り組んでいます。

一方、がん検診受診率や精密検査受診率については、兵庫県は全国的に見ても低く、がんの知識や治療についての県民に対するさらなる啓蒙活動が必要と考えています。

このため、がんゲノム医療を知るをテーマとして、令和5年1月14日(土)に地域公開講座を開催いたしました。

神戸常盤アリーナを会場として、神戸市、明石市などの近隣地域の方を対象に、33名の方がご参加され、質問にもお答えさせていただきました。

がん遺伝子パネル検査が保険適用となってから三年が経ち、がんゲノム医療が
広く行われるようになってきました。

現在では全国で年間およそ 1 万人以上の方が、がん遺伝子パネル検査を受けて
います。

治療の手立てが無くなった方や希少がんの患者さんにとって新たな治療につな
げる手段となることが期待されています。

今回の公開講座では、がんゲノム医療と遺伝子腫瘍の 2 つのテーマを取り上げ
ました。